京城日報　發行所 京城日報社

毎月八日 常時實踐の源泉に 國家總力を擴充發揮
純一無雜、各々の本分に精勵奉公

【東京電話】政府は大詔奉戴日の閣議決定と同時に左の如く內閣告諭を發し、その趣旨を國民に徹底せしめた

內閣告諭號外

昭和十六年十二月八日畏くも大詔を渙發あらせられ米國および英國に對して戰を宣し皇國の態度と國民の嚮ふべきところを昭示し給ふ恐懼感激に堪へず皇國の隆替、東亞の興廢は當にこの戰にかかれり、今や全國の民草は感激措くところを知らず、醜の御楯と奮ひ起ち克く盡し克く協へ翼賛に萬遺憾なからんことを誓はざるなし

實に八日こそ皇國に生を享くるもの、齊しく永遠に忘るゝ能はざるの日なり、新秩序建設の大使命の負荷せられたる記念すべき日なり、よつてこゝに昭和十七年一月以降大東亞戰爭の完遂に至るまで毎月八日をもつて大詔奉戴日と定む、すなはち全國民はこの日をもつて常時實踐の源泉と仰ぎ各々の本分に精勵奉公し、ひたすら大御心を奉戴して國家總力を擴充發揮して大東亞戰爭終局の目的完遂に挺身し、もつて聖旨に應へ奉らんことを期すべし

なほこれにともなひ興亞奉公日はこれを廢止しその趣旨とせるところは大詔奉戴日に發展歸一せしむることゝしたり

內閣告諭

大詔奉戴日設定さる
曠古の大業翼賛・一大國民運動を展開

興亞奉公日は廢止、大詔奉戴日に發展歸一
要旨、情報局發表

[illegible]公日は廢止され八日の大詔奉戴日に一層積極的な國民運動が展開されることゝなり大政翼賛會が政府と緊密なる連絡を保つてこれが運營の中心に當ることゝなつた

一、趣旨　皇國の隆替と東亞の興廢を決すべき大東亞戰爭の展開に伴ひ國民運動の方とも劃期的なる一大進展を要請せらるゝをもつてこゝに宣戰大詔を渙發あらせられたる日を擧國戰爭完遂の源泉たらしむる日と定め曠古の大業を翼賛するに遺憾なからんことを期せしめんとす

二、名稱　大詔奉戴日

三、日　八日

四、實施項目　趣旨に基き大政翼賛會において政府と密接なる連絡のもとに設定するものとす

五、實施　昭和十七年一月より大東亞戰爭中繼續實施し大政翼賛會これが運用の中心となる

六、昭和十四年八月八日閣議の決定により設定せられたる興亞奉公日はこれを廢止しその趣旨とするところは大詔奉戴日に發展歸一せしむる

實施要綱

一、方針　大東亞戰爭完遂のため必勝の國民士氣昂揚に重點を置き健全明朗なる積極面を發揮すること

二、實施項目

詔書奉讀　官公衙、學校、會社、工場などにおいては詔書奉讀式を行ふこと、詔書奉讀式の時刻は業態、交通などを考慮して適宜定むること

必勝祈願　神社、寺院、教會などにおいては必勝祈願の行事を行ふこと、但し一般氏子信徒に對してはその職場において祈願せしむるものとしことさらに祭式に參列を強制せざること

國旗掲揚　各戸においては國旗を掲揚すること

職域奉公　各自職域奉公を勵行し休業する如きはとらざること

その他の國民運動　その他の國民運動の項目は大政翼賛會において方針に基き隨時決定すること

三、備考　日曜日に際會せる場合當日業を休む官公衙、學校、會社、工場などにおいてはことさらに出動、出向せしむるに及ばず家庭人としてまた市町村民として當日を意義あらしむるやう措置すること

新なる發足 全力を傾け盡さん
安藤翼賛會副總裁談

安藤副總裁

【東京電話】大詔奉戴日の實施につき大政翼賛會では次の如き安藤副總裁談を發表した

畏くも昭和十六年十二月八日米英に對する宣戰の大詔渙發あらせられ、われら國民洵に恐懼感激に堪へざるところである、すなはち茲に毎月八日を『大詔奉戴日』と定め此日をもつて常に詔書實踐の源泉と仰ぎ全國民各々本分に精勵奉公し、もつて聖旨に應へ奉らんことを期する次第である

したがつてこれまで毎月一日に行はれ來つた興亞奉公日の國民運動はこの大詔奉戴日に發展歸一し、この結果從來の興亞奉公日は廢止するとゝなつた、興亞奉公日は昭和十四年八月八日の閣議決定をもつて設定され、同年九月一日第一回を迎へて以來全國民の自肅自戒の日、新生活實踐を期する源泉の日として今日に至つたのであるが、この間回を重ねること二十九回、その過した足跡は、けだし支那事變史に輝き、この間國民各位の寄せられたる心から成る協力に對し深甚なる感謝の意を表する、今回設定をみたる大詔奉戴日は實に一億國民が感激と決意を新たにする日であり、各自職域奉公の誠を致し、皇謨を扶翼し奉ることをお誓ひする日で、この日を中心として必勝の國民士氣昂揚に重點を指向しもつて積極的にして明朗健全かつ強力なる國民運動の展開を企劃することゝなつた、大詔奉戴日運用の中樞機關は專ら大政翼賛會これに當るのであるが、國民各位には從來の興亞奉公日に寄せられたる眞劍なる努力と強力なる實踐とはさらにこれを大詔奉戴日に移し新たなる發足のもとにその全力を傾け盡されんことを切望してやまぬ

內閣初閣議

【東京電話】政府は二日午前十時半より首相官邸に初閣議を開き東條首相以下全閣僚出席、まづ谷情報局總裁より大詔奉戴日設定に關する件につき說明、これを決定したるのち前回に引つゞき議會提出法案につき審議を行つたが、急速にこれを決定、議會側の事前準備に萬全を期するためさらに四日も法案審議の閣議を開くことゝし午後零時半散會した

隨想 必勝の春に寄す
中華人の明朗化
倉島至

大東亞戰爭の目的は、國民一般に明瞭に認識されてゐる。國民はこの戰爭で、暗雲がカラリと晴れた樣な、すがすがしさを一樣に感じてゐるのである。ところで、この戰爭は、隣邦支那四億の民にも、好い影響を與へつゝあるものと確信される。

私は、昭和十三年春から約一箇年半北京に駐在してゐた經驗があるが、當時の觀察からしても、支那人間には英米崇拜の心理は相當根強く潛在してゐる樣に思はれた。成程、支那事變では、支那人はとても日本人にはかなはぬけれどその日本人は米英人の敵ではあるまいと云つた侮日思想が、支那人の間には、どうしても拔け切らない樣子であつた。日本人は今はかうして調子よく支那人を壓倒してゐるが、そのうちに英米人が齒をむいて立ち上つたならば日本人は一たまりもなく支那大陸から退散してしまふやうに違ひないといつた目算に基づいて、彼等の所謂長期抗日戰が成り立つてゐるのであつた。

だから、いくら日本人が、東亞新秩序の建設を說へても仲々解せぬのであつたが、然し今度の大東亞戰爭における日本の赫々たる勝利を眼前にして彼等も初めて從來の迷夢から覺めたにちがひない。

日本は矢張り米英よりは力がある。米英が強いと思つて居たのは自分達の考へ違ひだつたのだ。香港も陷落した。グアムやウエーキはすでに日本の手中にある。マニラもシンガポールも命旦夕に迫つてゐる。日本は如何なる障碍をも排除して東亞新秩序の建設をなし得る實力をもつと云ふことが、今こそハッキリと彼等に認識されたにちがひない。

かうした心理が支那人一般に漸次に浸透して來れば、もうしめたものである。いくら蔣介石あたりが、見當違ひの強がりを云つても支那民衆の耳には入らなくなつて來る。反對に民衆は、自然に日本の力のたのもしさに附いて來るのであつて、かくして支那四億は、一心から、東亞新秩序建設の一翼たるに至るであらう。

從來支那事變を兎角、日本と支那の兩者の間だけで解決しようとして解決出來なかつたのは、實は支那の背後に米英が控へてゐたからであるが今度は、いよ/\その根源たる米英勢力を衝いて、以て東亞永遠の平和を確立せむとするのが、大東亞戰爭の目的である。

然して今や、戰勝の一報毎に、明朗化する隣邦支那四億を思うて、私は心から必勝の春を壽ぐ次第である。【筆者は本府情報課長】

マニラに廿キロ
香港同樣、平和的接收行はん
一兩日中に無血占領

【比島〇〇基地二日同盟】リンガエン灣に奇襲上陸を敢行しマニラに向け猛進中のわが〇〇部隊は一日正午ごろマニラ北方二十キロにあるビガアの線に殺到しマニラを指呼の間に望んで士氣ますます軒昂、さらに前進を續けてゐる、かくて米國東亞侵略の最大據點たるマニラの陷落は間近に迫つた、

【比島〇〇基地にて二日同盟】陸軍航空部隊一日午後二時半に於ける偵察機の觀測によれば我が地上部隊の北岸上陸部隊は、マニラを隔たる北方一〇キロ南岸上陸部隊は南方五〇キロの地點迄進出、マニラ包圍の鐵壁陣は此處に完全に形成された、我軍はさきに香港攻略戰に際し無益なる損傷を防止するため敵に降伏勸告を行つたと同樣の趣旨よりマニラの平和的接收を行はんがため特に市中爆撃を避け市街の現形を保たしめる方針を採用しつゝあるから二、三日中に我が方はマニラを無血占領すると同時に歷史的入城式を行ふことになる模樣である

全マニラ鐵道わが掌中

上海特電【二日發】バタンガス方面にて奇襲上陸せる部隊は南北兩[illegible]に呼應してバタンガス州の中央突破を決行、マニラ鐵道に沿ひ北進中で、元旦早くもキャビテを制壓、全マニラ鐵道は完全に我掌中に歸した

比島政府濠洲へ逃亡か

【リスボン一日同盟】當地に達した情報に依ればマニラ陷落の危機に直面した比島政府はいち早く濠洲北部のポートダーウィンに移轉中と傳へらる

マ司令官逃仕度
わが猛爆に右肩負傷

マ司令官

【リスボン一日同盟】マニラは南北よりの皇軍の猛進により、まさに陷落せんとしつゝあるが、ワシントンよりの報によればスチムソン米陸軍長官は、マニラが陷落すればマッカーサー米東亞軍總司令官は比島を引揚げる豫定であると一日發表した

【比島〇〇基地二日同盟】米東亞軍總司令官マッカーサー大將は戰前の豪語にも拘らず我軍猛攻の前にあへなく潰敗、マニラ灣口コレヒドール島要塞に遁走潛伏中とのことで、信ぜられる情報によれば同大將は先日來の我航空部隊の爆撃に際し爆彈の破片を右肩に受け負傷したと傳へられる

ハワイ諸港砲撃
わが潛艦活躍

【ストックホルム一日同盟】ワシントン來電によれば米陸軍省は一日左の如く比島ならびに太平洋方面の戰況を發表した

一、マニラ北方において激戰が展開されてゐる、米軍は強固な陣地に據つて頑強に抵抗中

一、日本潛水艦はハワイ水域で活動、ハワイ島のヒロ港、マウイ島のカフルイ港およびカワイ島のリフエを砲撃した

輸送船團撃沈
マレー方面の戰況

大本營陸軍部發表（二日午後五時十五分）マレー方面に活躍中の帝國陸軍航空部隊は一月一日左の如き戰果を收めたり

一、マラッカ海峽方面に出動せる爆撃機隊は敵輸送船團を攻撃、一二千トン級一隻を炎上、二千トン級一隻を大破せしめ、更に同海峽を北上中の快速魚雷艇四隻を發見、果敢なる急降下爆撃を加へその一隻を撃沈、三隻を航行不能に陷らしめたり

一、〇〇方面の上空に飛來せる敵マーチン一三九ダブリユウ型爆撃機を發見直ちにこれを撃墜せり

コレヒドール島爆撃を前に作戰を練るわが陸鷲＝〇〇基地にて（陸軍省檢閲濟）＝電送

サラワクの英軍主力撤退

【サイゴン二日同盟】アリップ通信シンガポール電によれば英國側はサラワクの英軍主力は無事撤退に成功したと發表した

マニラ失陷
米國民一般も"諦め"

【リスボン一日同盟】ワシントン情報によればマニラの陷落を目睫に控へ米國朝野は暗澹たる空氣に包まれてをり、ジョージ上院議員は一日『われ/\は今後も引つゞき失望落膽させられる幾多の情報に接することを覺悟しなければならない、マニラが一度陷落すればルソン全島の米國軍はもはや長期の抵抗は出來ないであらう』と語り、戰前對日侮辱の限りを盡したコナリー上院外交委員長の如きも『マニラ失陷は不可避となつたが何分米本國と遠隔の地だからどうにもならぬ』と今さら泣きごとを述べてゐるが、マッカーサー總司令官が三百名の重傷者を本國に送還せんとしてゐるのは司令官自身早くもマニラ支へ切れずこの見切りをつけたものと觀測し米國民一般も諦めをつけた模樣である

戰爭よりも商船護送が急務
米紙強調

【ブエノスアイレス卅一日同盟】ニューヨークタイムス軍事記者ボールドウインは三十一日アメリカ海軍刻下の要務は東洋海面における危險極まる戰闘行爲よりも物資補給に關する商船護送であるとし次の如く述べてゐる

アメリカ　が太平洋艦隊主力の回復と再建を得るには若干の時日を要するであらう、アメリカ艦隊が遠く本土を離れ且つ日本海軍力の制壓下にある基地で戰爭行爲に出ることはなる程劃期的ではあるが危險極まることである、それよりは

商船護送　こそ刻下の要務である、何となればシンガポールが維持され比島が戰ふことを計畫し得る爲にはこれに對する兵力增強軍事物資特に飛行機の輸送を世界最大の海洋を渡つて增大せねばならぬからである、アメリカ艦隊の戰績はやゝ失望的なものであるが、何國といへどもアメリカ軍が經驗したやうな優勢な空軍と太刀打ちするに足る空軍を保有してゐない、アメリカ海軍は

無爲怠慢　に終始してゐるのではないが、その成果はその[illegible]

紐育、空爆の可能性
米海軍司令官市民に警告

【ブエノスアイレス一日同盟】ワシントン來電によれば米[illegible]司令官アンドリユース少將はニューヨーク市に敵機襲來の[illegible]絶無に非ざる旨一日左の如く言明し市民を戒めた

ニユーヨーク空襲の問題については、われ/\はいつ最惡の場合が起るかもしれぬと覺悟しておく必要がある、そしてこれに對する完全な軍事的準備を整へておかずして空襲の心配なしなどといふのはとんでもないことだ、わが陸海軍は大西洋岸を守るために協力していま萬全の對策を講じつゝあるところだ

アラスカ防備に義勇兵

【リスボン一日同盟】ワシントン一日來電によればル大統領はアラスカ國土防衞法に署名を了した、右はアラスカ領內の工場、橋梁、鐵道、瓦斯、水道などの公共施設を防衞するために義勇軍を組織するものである

米、全豫備兵を召集

【ブエノスアイレス一日同盟】ワシントン情報によれば米陸軍省は一日各軍管區司令官に[illegible]

橫鎭參謀長更迭
藤田利三郎少將新任

【東京電話】橫須賀鎭守府參謀長金澤正夫少將は三十一日附をもつて某要職に轉出その後任として藤田利三郎少將が新たに參謀長に補せられ同日着任した旨二日橫須賀鎭守府より公表された

藤田新參謀長は大阪市出身、本年五十歲、海軍兵學校第四十期卒業、國際聯盟軍縮會議隨員、英國大使館附武官を經て昭和十三年上海特別陸戰隊參謀長、同十三年榛名艦長となり、十四年練習艦隊參謀長などの要職を歷任、十五年上海在勤武官となり今日に至る

獨クリミヤ半島上陸赤軍猛爆

【ベルリン一日同盟】獨軍司令部發表

一、獨空軍はクリミヤ半島のフエオドシヤに上陸した赤軍部隊ならびに黑海の赤軍補給連絡船を爆撃して兵員と資材に大損害を與へた

一、東部戰線の中央地區においては卅一日も激戰が繼續され獨空軍は攻撃し來らんとする赤軍の行動を組織的に阻止した

コレヒドール要塞へ猛進中
皇軍、戰果を擴大

【比島〇〇基地二日同盟】リンガエン灣に奇襲上陸せるわが〇〇部隊は一路南進し、バターン半島をコレヒドール要塞方面に向ひつゝ戰果を擴大中である

米英また協同作戰討議

【ストックホルム一日同盟】ワシントン來電によれば四日間にわたるカナダ訪問を終へたチャーチル英首相は一日午前九時オッタワよりワシントンに歸來したがルーズヴエルト大統領は即日聯合國會議を招集、懸案の協同作戰問題その他につき討議を再開することになつた

マニラの敗敵を猛爆

ブエノスアイレス特電【一日發】ワシントン來電によればマニラを目指す各戰線における日本軍の壓倒的猛進は卅一日夜から元日朝にかけて物凄く日本軍は元日正午ごろまでにマニラ灣周邊の各要衝に殺到してこれを占據、これがためマニラ灣は完全に日本軍の制壓下に歸しマニラは既に抗戰都市としての機能を喪失するに至つた、敗退米比軍は各所より船を求めて海外脱出を試みつゝあるが、日本軍の猛砲撃及び日本航空隊の猛襲は熾烈を極め各所にダンケルクの慘劇が展開されつゝあり、アメリカ東亞軍司令部及び比島政府の一部はマニラ灣口コレヒドール島によつて最後の抵抗を試みんと努めつゝある模樣であるがこれ亦日本航空隊の爆撃下に粉碎されんとしつゝある

長樂街に巨彈

【〇〇基地二日同盟】わが陸の荒鷲は廿九日來[illegible]方面における地上部隊の進撃に協力果敢なる攻撃を敢行しつゝある、すなはち廿九日には諸暨、安化街、橫山市など敵第四十九軍及び廿六師の本據を徹底的に爆碎、卅一日には玉城市附近の敵を攻撃、さらに新春早々大編隊をもつて長樂街の敵第卅四師司令部を急襲、巨彈の雨を降らせいづれも全機無事歸還した

[illegible]を發し、來る二月一日までに全[illegible]を召集するやう命令した

將兵の士氣横溢　聖業完遂に邁進

派遣軍總司令官　畑俊六

【畑總司令官（寫眞）】

【南京一日同盟】御稜威八紘を照覧ひ皇軍の威武大東亞を壓するの秋、大陸の第一線に光輝ある昭和十七年の新春を迎へ遙かに聖壽の無窮を祝し奉る、支那事變勃發以來四年有半、わが派遣軍の不斷の勇猛果敢なる作戰と強力な經濟封鎖とにより敵の抗戰力は萎微に瀕し、重慶政權は極度の窮迫を告げ、軍民上下をあげて戰意を喪失せんとし、重慶の命脈正に盡きんとするの秋、突如として大東亞戰爭の勃發を見たのである

これすなはち支那事變の全貌發展であり同時にわが大東亞新秩序建設の理想を反映する天意の顯現である、支那派遣軍は今次陸海軍と緊密なる協力のもとにわが事變處理を阻害し來つた敵國米英を悉く支那大陸より掃蕩すると共に、英國百年の牙城香港を攻略して東亞侵略の據點を覆滅し、畏くも優渥なる勅語を賜はる、眞に感激の至りに堪へない

これ固より御稜威のしからしむるところであるが、また支那事變以來君國に殉した英靈十萬の赫々たる武勲と熱誠溢れる銃後の支援、協力によるものであつて、こゝに深甚なる感謝の意を表する次第である、今や派遣軍の將兵は士氣ますく旺盛いよく盛況である、友邦國民政府の基礎また日に固く、帝國と提攜してもつて興亞の大業に邁進せんとするの決意牢固たるものあるは大いに意を强うするところである

すなはち派遣軍は銃後一億同胞の總意を併に盟邦と相携へさらに南方の作戰と相呼應し全力を重慶政權の擊摧殲滅に注ぎもつて速に聖業を完了し、宸襟を安んじ奉らんことを期するものである

農業生產力を增強　食糧經濟確立せよ

金融組合聯合會々長　松本誠

【寫眞＝松本誠氏】

皇威八紘に輝く皇紀二千六百二年の新春を迎ふるに當り各位と共に恭しく聖壽の萬歳を奉唱し奉り大日本帝國の悠久無窮を祝福し、併せて萬里に赫々たる大戰果を收め皇威を世界に宣揚されつゝある陸、海、空の皇軍將士に對し衷心感謝の意を表すると共に、皇國興隆の前途に思を馳せ、新たなる勇猛と不退轉の決意を以て國家の附託に應へたいと存ずる次第である

顧み　ればこゝに四年有餘大陸に師を進められたる支那事變が總和となつての戰であつて、その問題は、今日大東亞戰爭に進展し積年に亘る米英の非道を殲滅し正義日本の正道は東亞の平和と發展を期し、更に錦旗を西太平洋に進めつゝあり、この秋皇軍は眞に一心一體となつて提攜いよいよ固きを加へ、泰支我と攻守同盟を結び、東亞の諸域悉然としてわれらの正義に加はり更に日獨伊三國同盟が益々固く結ばれて世界新秩序の建設に着々として巨歩を踏み出したのである、生をこの非常時に享け、職を聖戰に奉ずる我々一億國民は、この光榮ある責務を完遂するがため、國內においては愈よ高度國防國家の決戰體制を強化し、國外においては盟邦諸國と共に強固なる結束をなし、究く國威を完うすることが焦眉の急務である

謂ふ　までもなく現代の戰爭は、戰線の將士と銃後の國民とが渾然一體となつた武力と經濟力の戰であつて、こに經濟強靭なる經濟力の背景なくしては今日の戰爭は一日と雖も繼續することは不可能である、而してこの戰時經濟力の根柢を爲すものは、一に國民生活必需物資の充足と各種軍需資材供給の役割を擔つてゐる農村經濟力の如何に懸かつてゐるものといふことが出來る、即ち今次歐羅巴大戰に徵しても交戰各國が相互に經濟封鎖、就中農業生產物の補給路の遮斷と、穀倉地帶獲得に必死の努力を傾注しつゝある狀況に徵しても、戰爭遂行の原動力を爲すものは農業生產物の充足であることを明白に物語るものとして、時局下農山村に負荷せられたる責務は一入重且大なるものを痛感する次第である

飜つ　て支那事變以來我が國農業生產の推移を回顧するに事變初期において他の物資については左程統制の必要を見なかつたのであるが、事變の長期化と世界戰亂の勃發により、農業生產上に不可缺とする肥料を初め、農用資材の不足並に時局產業生產擴充のための勞働力の流出等によつて、農業生產物も漸次窮屈となり、他の物資と同樣或る程度の統制を加へ、以て需給の均衡を圖る必要に迫られて來たのである、さりながら聖戰既に滿五年に垂んとする今日、他の物資に比し、猶ほ餘裕を保持しつゝあることは、諸外國の實情に照らし寔に稀有のことである、このことは我が國の國際的地位が優位にあることゝ地理的條件に惠まれてゐることによるとはいへ、これ偏に銃後の農民が食糧增產のため日夜その血と汗を流し、勤勞に勵みつゝある全國農民の努力の結晶に外ならないのであつて、日本國民の逞しき底力が農村に牢固として培はれてゐることを實證するものとして洵に心強い限りである

然し　乍ら凡そ何れの國においても、戰時にあつては各種生產條件の惡化により、農業生產が逐次遞減するに反し、一面需要の飛躍的增大を齎らすことを通例とするものである、我が國においても事變以來穩やか乍ら漸次減收の途を辿りつゝあつたのであるが、偶々昭和十四年における內地及朝鮮の大凶作にあひ更に一層の拍車を加へられ、今後大東亞戰爭の進展長期化と國際情勢の急轉換に伴つて食糧經濟の確立は極めて重要なる課題であると共に農村に課せられたる國家の至上命令である

惟ふ　に食糧經濟の確立といふことは畢竟するに農業生產物の需要と供給の均衡を圖ることに外ならないのであつて、これがためには農產物を生產する農村たると、これを消費する都市たるとを問はず、國民總てが擧つて消費規正の強化に心掛けねばならないことは勿論、何としても農業生產力の積極的增強に俟たなければ根本的の解決は期し難い、而して農業生產の自給強化方策として、大規模の土地改良事業による農耕地の開發、生產技術の綜合動員による耕種法の改善、農地の交換分合或は有畜農業と副業獎勵による營農規模の適正化、自作農創定または小作制度の改善による土地制度の確立、其の他農業生產物に對する價格政策の合理化など幾多の根本的または臨時的施策が講ぜられなければならないのであるが

內地　においては昭和十六年度より昭和二十七年度迄を第一期計畫とし、米麥の增產計畫が樹立せられ、朝鮮においても昭和十五年十二月に重要農林產物增產計畫の樹立を見、引續いて部落生產擴充計畫の實施、近くは米穀生產者に對する獎勵金の交附などこれら施策が着々實行に移され、或は眞劍に考究せられつゝあることは、農村のため洵に慶賀に堪へない處である、然しながら內地の農業は何れの角度においても既に高度の發達を遂げ、生產の最高限界に到達したるかの狀態にして、加ふるに事變以來少からぬ農業戰士を大陸の戰野に、或は軍需產業方面に送り、人的資源の涸渇と農業資材の不如意により、最早これ以上の增產を收むることは容易ならざる實情にあり、我國戰時糧食確保のためには勢ひ外地の增產に俟たなければならぬ情勢にある

然る　に半島における農業は殆どこの方面と全く先進內地の近代的農法を攝取し近時異常の進步發達を示しつゝありとはいへ未だ完全に封建時代の殘滓を拂拭するに至らず、其の間に革新改善を要するもの多く從つて將來における增產の分野も極めて廣く殘されてゐる現狀である殊に農業生產に最も重要な要素たる農業勞働者の如きは、農繁期と農閑期との間に需給關係が甚だしく隔絕しをれるため、徒らに半農眠の狀態に空費せられてをるのみならず、永年に亘る農村の因習に基く農家婦女子の遊休勞働量も決して輕視すべからざるものがある

今も　し是等の半農眠乃至は遊休勞働力を動員結集し、しかもこれに高度の生產法を持たしめ得るならば、現下農業增產の最大隘路である肥料の不足または農用機具の入手難の如きも補足して、なほかつ餘りあり、更に進んで時局產業或は內地、滿洲への人的資源の基地としての使命を果し得るものと確信するものである、これを要するに農業生產力の消長は、叙上の如く農耕地、生產技術、農業勞働力等の生產要素の量と質の如何に存することはいふまでもないのであるが、これ等個々の生產要素が如何に豐富に存するとしても、それが直ち、生產力の多きを示すものではなく、總ての生產要素が最大の生產力を

發揮　し得るが如き協同的綜合と、最も能率的なしかも強力な組織によつて統制せられてこそ始めて最高度の生產能力を擧げ得るのである、金融組合が昭和十二年以來殖產契の擴充強化に全力を傾注し、この部落的協同體を基底として、或は共同作業に、或は共同利用に將又共同購買販賣事業に努力を拂ひ、更に進んで國民總力運動の部落聯盟と表裏一體の下に物心兩面に亘る指導育成に日もなほ足らざる活動を爲しつゝある所以も、實に茲に存するのである、斯くの如く半島農村における協同體制の確立は、殆ど完成の域に進みつゝあるのであるが

これ　等農村協同體が健全なる發達を遂げ、眞に國家の要請に副つて最高度の能率を擧げしめるためには鞏固なる隣保共助の精神的團結の上に立たしめねばならぬ、この意味において今や二百五十餘萬世帶の組合員と二萬四千餘に達する協同の實踐組織たる殖產契を擁する金融組合の使命は愈よ重且つ大を加へつゝあるものといふべく、眞に組合運動の振ふと否とは、直ちにもつて半島農村の隆替に關はり延いては皇國の隆替にも關するものなることに深く思を致し、彌が上にもその協同精神たる共同一致の組合精神の昂揚發揮に努め鞏固の如き團結をもつて、この歷史的國難突破に向つて總進軍を爲すべき秋である

川岸聯盟總長試筆

正義必勝　川岸書

本社懸賞勅題寫眞「連峰雲」特選二席　福田千代之助

第二次生擴計畫　半島への期待大

鹽田企畫部長語る

【釜山電話】昭和十七年度物動計畫打合せのため東上中の鹽田本府企畫部長は二日「あかつき」で歸任したが、釜山で左のごとく語る

◇……第一次生擴計畫は十七年度で終つて十七年度から廿一年度まで第二次計畫にはいることになつたが、半島の第一次計畫は資材入手難その他惡條件を克服して大體豫定通りに順調に進んでをり第二次計畫においても地下資源の開發や電源の開拓には特に朝鮮に對して高い評價を以つて期待されてゐる

◇……今次大東亞戰爭の擴大に伴つて南方資源の入手により物動計畫も相當緩和されるのではないかと見てゐる向もあるやうだが、十七年度の情勢はさしあたり大して變化はない、無論地下資源は豐富であるがこれを解決する船舶の關係でなかなか早急に好轉させることは困難である

◇……だから第二次計畫も中途以後における變更は豫想されるにしても大體第一次計畫の方針に準據して進むことにならう

◇……即ち佛印のゴムや錫鋼、スチールなどの重要物資についても條件が著しく惡いので朝鮮においても引きしめなければならぬと思つてゐる、從つて官需、民需ともに相當壓縮を餘儀なくされることと思ふ、しかし現在に比ぶれば本年度は好轉を豫想される希望に滿ちた長期戰であるから我等の生活においても眞に戰時生活の徹底を期して國民として將來を期待する辛抱が必要である

大東亞建設の使命【七】

要請される新經濟形態

どうする

米の性格叩き直し

杉森氏　米國としては南米にまで伸びればいゝといふことを眞面目に米國人の中でも考へ、大體肚で決めてゐたが、十數年前から、然しおどかして伸びればこれほど面白いことはないので、日本はさほど大きい國ではないからと侮つて東亞方面に遠慮なしに伸びようといふことになつた、今の合衆國の人口は一億三千三百萬しかありません、あの地域……あの通り廣い合衆國だけでもあんなに資源がある、石油だけでも一億九千萬噸出してゐる、輸入は僅かに六百萬噸足らずです、こんなわけでありまして結局合衆國といふものは若しも南米だけに伸びてゐればかういふことにならず有難い倖せである、その南米がなかなか思いと今から益々なつて行く、南米アルゼンチンが第一にかういふ風に武力によつて世界の面において、日本によつてやられて見ますといふ段階して來ると思ひます

ブラジルなんかでも武力によるといふと、國によつては恐らく當分難しいでありませうが、海軍とか陸軍とかいふことになるが、海、空軍となれば日本がかういふ風な成果を擧げてゐるそんなわけで合衆國の關心は益々南米の方に集つて來る、諸物

り一生懸命南米を自分のものにするやうにしませぬと、南米が合衆國に背く、もう多少その徵候がある、かういふわけで北米に引込んでしまふかも知れません、勉強次第では南米に伸び得るといふことになる、そこで滿足するといふことになると、國內にもそちらに頭をめぐらしてゐる者も多少出來つつあるやうに思ひます

共榮圈の經濟建設

來間氏　大東亞戰爭は當面軍事上英米を叩き付けるといふ破壞的な面と、もう一つ大東亞建設といふことがあります、これは無論大東亞共榮圈の建設には政治の部面もありますが、極めて重要な一面として經濟的な部面もあつて氣の早い國民は「さあ南方へ出たのだから明日からでも油が來る、ゴムが來る、食べ物も豐富に來る」といふやうなことを考へて非常に朗かになつてゐるものもあるやうであります

そこでうまく明日にも色々な物が來るからといふことでなく、もつと大きな意味で大東亞共榮圈內の經濟建設が行はれるだらうと思ひますが、極く大體に大東亞共榮圈の將來經濟をどう運營していつたらよいか、その大東亞共榮圈の經濟的な問題のゆくべき道、或はどういふ形で建設されるであらうか、どうさるべきであらうかといふこと、及び大東亞共榮圈が確立した時に英米の經濟的地位といふものはどうなるか、現在でも物資の面から見まして、或は經濟市場として大東亞共榮圈は英米が非常な自分の富の基として大事がつてゐるから日本の南方進出に反對してをりますが、これは日本の指導權なり、共榮圈が出來た時に英米はどうなるか、さういふことについて西村さん

安價は樂觀禁物

西村氏　大東亞共榮圈の經濟について樂觀的な話がありましたが、出來たならばよいといふ前提を抜きにすれば、思ひ日本として は矢張りその中に物資があるとすれば、これは樂觀して間違ひないと簡單にいつてよいと思ふ、日本は元來物が少いけれども、イタリー等と違ふところは澤山な種類の物資を、產出額は少いが持つてをります、經濟的な節約にしても成功してゐる、ゴムとか、錫とか、タングステンとかいふやうなものはないが、色々な物が出ます、非常に日本の經濟……殊に今までの經濟統制といふものが英國的な經濟統制で、世界中においてどこでもよい物資の豐富な所は自分の政治的、經濟的な支配下に持つてをりさへすれば、それを世界中市場としてそれを賣る、二十幾つかの國へ自分の工業力で以て造つたものを世界中に賣りさへすれば富日發えることであつたのであります

これからの時代といふものは東洋を支配するためには高度國防國家でないといふ、本當の強國といふことは出來ない、高度國防國家といふものは地域的に本當に軍備をおき、自分の武力において護られてゐる地域內になるべく多くの物資を持つてゐる、地域的には惡い地域や狹い地域まで自分の武力範圍內において、生產物資も、消費物資も全部持つてゐるといふことが必要なのである。さういふ觀點からゆきまして政治的には杉森さんの言はれたやうに、英國的な經濟の持方と言ふものは駄目になつて來たのではないかと思ふ

高度國防國家

日本は國防國家體制として、さつきのお話の前提の東亞共榮圈政治形態、經濟形態といふものが出來上れば一つの高度國防國家が出來上る、さういふ點からいつてもそれには將來に取つて日本をして立派な國にする大事な手段、一つの大事なステップ——滿洲事變は一つのステップであつたが、今度はホップ・ステップ・ジャンプといつたところで、これが出來て東亞共榮圈が立派に出來るといふことは相當期間においてなされる、日本は愈ゝ外に向つて、發展目標が漸く一つ落着いて建設されて、世界の中の國として本當に地盤が出來るのであつて、地位的にいつても物資的にいつても非常にいゝ計畫が作れる、今度の大勝利といふものは非常に有難いことであると思ふ

經濟工作は如何

來間氏　その經濟工作は……

西村氏　まあ何しろ支那事變を一つ取つて見てもその經濟工作といふものはどんなに難いものであるかといふことは我々がこの四年半か五年間に深く經驗したところで、石炭があればとて、それが我々本國の役に立つといふまでにはなかなかいかない、支那の中に十分に鐵道が敷かれてゐるわけでないし、又人間、勞働力といふやうなものにしても十分に石炭勞働に動員することが難しい、又經濟全體の通貨工作といふことも難しいことである、當局者が骨を折つてをられることは皆承知の通りであります、今度の南方共榮圈地域でも、無人島の非常に物資の豐富な所を取つたのであるならば別だが、世界的に人口稠密な所であり、南洋の民族は歷史の古い西洋人に色々惡習慣も附けられてゐるし、色々すねた奴もゐるでせうし、またよくいはれてゐるやうに怠け者であらう、日本人のやうな立派な人達から見ればかういふ人達を統治してゆくことは非常に難しい、又通貨工作にしても一つ誤ればなかなか思ふやうにはゆかないから物資の取得も出來ないといふこともありませうし、具體的には日本の物資輸送に關して非常に船が必要である

その場合に英國のやうに澤山船を持つてゐればよいのですが、日本は正に一流海運國ではありますが、未だ今度の東亞共榮圈の要求を維持してゆくのに必要なだけの船はまだまだ足りないだらうと思ふ、物資が澤山出ましても戰爭中といふものは、軍艦も御用船も要るのですから、民需物資と云ふものはさう持つて來ることはなかなか思ふやうにゆくものでない、國民はその點で生活の最低保證が出來れば將來は最初に申上げたやうに日本は立派などこの國も羨しがるやうな日本の國の基礎が出來たのだから、消費生活等については最も引緊つた氣持でゆかなければならぬと思ふ

通貨を圓にリンク

來間氏　東京で大東亞共榮圈內の經濟的の根本を爲す金融機關を持つて、日本を中心にしてゆかなければならぬ、そのためには共榮圈中央銀行といつたやうなものを作つて、總て各地の通貨を圓にリンクさせる、それで日本が支配的地位に立つてやる、さういふことは出來るか、出來ないものですか

西村氏　それは戰爭に出來ないことだと思ひます、然しドイツが既に計畫はしてゐるやうです、要するにフンク經濟相が歐洲新秩序といふものと結びつけて、ライヒスバンクといふものが中心となり、各國通貨と諸國との貿易決濟……この國際貨幣をドイツの中央銀行で以てうまく按配していく、それと睨み合せて貿易等も中央に相談してゆく、輸出入物資の動きもさういふところで見てゐて、國際收支に餘り大きな凸凹の出來ないやうに、安定させる通貨工作をドイツの國家が中心になつて按配してゆくことだが、これはなかなか出來ないのです、一番いゝのは最近では米國の西半球の問題でございます、西半球に廿ケ國でございますが、約六十年ばかり前から會議を作つてをりますからそれで以て中央銀行を作つてゐる、勿論米國を中心にした汎米銀行を作つて、南米の貿易を決濟しようといふことを計畫されたが、今度ルーズヴェルトになりまして初めて本當に出來るといふことになりました

各國がその國の力に應じて資本金を出して作ると云ふことは新聞に出ました、しかし創立總會がありましたのは去年の春だがそれが今日になつても實際に出來てをりません、たとひ貧乏な國がそれに應じても約束した資本金が出來ないといふことが出來て來た、それを豐かな國が持つ——さうしてやつてゐるといふ机上のものは出來てゐるが、實際にはなかなか難しい、これはドイツ邊りでも研究してをりますが日本が支那で通貨に對して苦勞したから四、五年前のことと今日のことでは非常に中央當局においても考へが違つてしつかりしたものがあると思ふ、大體の方向としてはさうなると思ひます

正月執務！

きのふ本府　愛國班常會

陰の防空戰士へ感謝

本府防護課　初の監視隊員慰問行

知られざる勞苦

のお蔭なのだ、大東亞戰開戰と共に大陸前衛半島の負荷する使命がますく重大化して來た今日、陰の防空戰士監視隊員への感謝を銃後人は肝に銘して忘却してはならない、防護課でも早くから監視隊員慰問行を企畫して來たが、戰捷の春を迎へて茲に實現したもので、同課の寺門事務官、江良中佐をはじめ稻垣、田中、林、南、平賀、元吉、小池、江藤、河野各屬が三橋警務局長の慰問の辭及び茶菓料を手土産にして一人約十日間の日程で全鮮各道に出來るだけ廣く慰問の歩を進めることとなつた、慰問使第一陣を承つた寺門事務官はすでに卅一日江原道へ向け出發したが、各慰問使の出發日と慰問道は左の通り

慰問使の出發日程

▲江良中佐一日から平南▲寺門事務官廿日から江原道▲稻垣屬二日から平北▲田中屬二日から京畿、江原兩道の一部▲林屬二日から黄海▲南屬十日から咸南▲平賀屬十二日から全南北▲元吉屬十三日から慶北▲小池屬廿日から咸北▲江藤屬廿日から慶南▲河野屬十二日から忠南北

んで眞實の籠つた慰問金を贈られたことは全半島防空戰士の喜びであり、指導的立場にある私としても感謝にたへない、監視隊員の勞苦は口ではいへないほどに大きくそれだけに責務も重大なのだ、われくはともすればこの監視隊員の地味な任務を忘れがちなのではあるまいか、今日のこのやうに安心して銃後生活が續けられるのも監視隊員の不斷の活動あつてのことなのだ、この點を充分考へてもつともつと温かい慰問の手を差しのべて頂きたいと思ふ

軍へも一萬圓

社員からも三千五百圓

本社の元日拜賀式席上、全社員の總意で獻金することを決定したので、御手洗社長は二日午前十一時五十分緒田總務部長を同伴、朝鮮軍司令部愛國部を訪問、平井大尉に本社分五千圓、社員一同一千七百五十圓を獻金する手續をとつて辭去、次いで零時十分總督府に三橋警務局長を訪れ、八木警務、北村防護課長立會の下に金鮮防空監視隊員慰問金として一萬圓を贈呈、更に京城府在海軍武官府を訪れ黒木大佐に面會、金五千圓と社員からの一千七百五十圓を獻金する手續を了した

たゞ感謝の心

本社が慰問金一萬圓

だ、本社では戰捷の春戰に金一萬圓を贈呈して監視隊員諸士の寡

北村防護課長の談

「防空監視隊員諸士に本社が進んで慰問の方法を講じられんことを願ふものである

兵隊さんへ"魂の彈丸"

—戰捷後銃後の春は初荷から—

『戰捷の春』……積荷の上に高高と揭げられた〃初荷〃の小旗は二日朝の寒氣を衝いてハタくと威勢を示す、大東亞戰は太平洋の西に東に赫々の凱歌をあげたが、銃後は國民の意氣を盛つて生產擴充に精いつぱいた、今年も前線の勇士に酒を送らうと京城三坂通りの金千代酒造場では〃醸造報國〃の赤心を籠めて華々しい酒造りの戰ひが始められた、前線勇士へ〃魂の彈丸〃を送る酒樽の山はトラックに三輪車に大八車に滿載されて續々と發送される、戰捷の春を謳るにふさはしい『初荷』の山は後から後からとつゞき『戰ひつゝふとる』初荷にみる戰時色である【寫眞＝きのふ撮す】

搖ぎなき〃決戰朝鮮〃

南さん、全國へ新春聲の贈物

我が朝鮮は、我が台灣は、我等の關東州は、大陸は大東亞戰第二年を迎へて、どんな決意をもつてゐるかを内地の人々に傳へる總督、軍司令官の年頭の辭が二日午前九時からAK中繼で全國に放送され、その先頭を承つて南總督が『朝鮮の決意』と題して一億銃後人に向つて烈々の辭を送つた

この朝

の南さんは國民服に勝利章をつけ、放送室に充てられた、朝陽の射し込む官邸第二應接室に定刻九時の少し前に悠々迫らぬ態度で姿を現はした、AKアナウンサーの紹介に次いで正九時總督の張りのある聲がマイクから流れ出た

全國の皆さん戰捷の光榮に輝く紀元二千六百第二年の年頭に當り私は朝鮮の官民二千四百萬人を代表致しまして新年の御慶びを申上げます

と冒頭して、十二月八日宣戰布告の大詔が渙發あらせられてから半島に『米英討つべし』と力強い民衆の雄叫びが火玉となつて、全鮮津浦々で臨時集會が開かれて宣言決議が行はれ總督の机上を埋めた熱誠ぶりは獻金となつて顯はれ、農民は依然として雑食、粗食に甘んじて

内地に

少しでも多く米を供出しようとしてゐる實情を述べ、更に愛國熱は今年の志願兵志願者の數が定員三千名に對して實に八十倍に達する廿五萬人を超過し、いかに半島が總力擧げて聖戰目的遂行に一致團結してゐるかを縷々說明

續いて内地にある百萬以上の朝鮮同胞は皇國一體の内地の雰圍氣において定めて皆樣がたの厚

米英音樂の演奏禁止

【東京電話】大東亞戰爭勃發と同時に國內から放逐された米英映畫とならんで敵國米英の音樂を如何にするかにつき情報局では三十日、今後日本人には輕音樂、歐音樂を問はず敵國人の作品演奏を行はせないとの根本方針を發表、一般演奏家の深ひに戰慄を與へた、元來米英兩國は周知のやうに

音樂

的水準の低い國で殿音樂部門でも毎年演奏される曲目の大部分は獨伊佛三國の作品であり、米英系作家の作品が演奏されることは極めて稀で比較的日本に馴染深いエーガー（米）マクドウエル（英）などの作品でさへ全國を通じて年二十一、二回演奏されるに過ぎない、從つてこれら米英系作品の演奏を全面的に禁止してもわが樂壇にはなんらの

影響

もない譯である、一方輕音樂部門では特に米作品でわが國に紹介されてゐるものの數は多いがその代表的なものは『星條旗よ、永久なれ』『ワシントンポスト』などのやうにいづれも米人の士氣昂揚に資するものか、または卑俗低調な米系ジヤズなどでこれらは百害あつて一利なきものであるからこれを閲曾にこれらを一掃することはわが國音樂文化の發展には却つて有益であらう

但し米英系のものでも『螢の光』『庭の千草』のやうな日本人の情緒に適し充分日本化され日本題名によつて演奏されてゐるものはなんら

排斥

する必要はなくこの點情報局では誤つた行過ぎのないやう希望してゐる、一般と關係深いレコードによる演奏に付ては內務、文部兩省と協議の上新年早早具體的對策を發表する豫定である

南さんの聲に泣く在京兩氏

"力强いあの聲"

感銘を語る朴春琴氏

【東京特電】簡素な松と竹、注連繩に各戶の門を飾る戰捷の春、二日目の朝は明るく明けた、午前六時のニュースに始まるラジオは皇軍のマニラ攻擊は急激に急激を加へ、最早陷落近しとの快報だ、次いで九時から全國中繼の朝鮮總督南次郎大將の放送だ、春風に乘つてあの親しみ深い聲が朗々と隣組から隣組へと流れて行く、あの力強くも懷かしい聲を半島出身朴春琴代議士と朝鮮奬學會理事長大竹十郎氏はどんな心持で聞いたたらうか、以下南氏の感想をたづねる

『內地在住百萬同胞を宜しく賴む』と南さんは言はれた、そして大東亞戰爭は何の爲起つたかを說き、必勝の爲には內地の者も半島のものも一緒になつて戰ひ拔かねばならない

それには何といつても愛國心が必要だ、半島二千四百萬は今こそ火の玉となつて戰つてゐる、また半島は兵站基地として地下資源開發、食糧增產、或ひは志願兵制度の擴張に蹶然起ち上つた、と述べられてゐた、私は東京にゐてこの南さんの聲を聞いて何と力強く感じたことか、南さんの施政宜しきを得て半島は今や若木のやうにすくすくと伸びてゐる、

と、高く南さんのために祝盃を擧げた【寫眞＝大竹十郎氏】

肉親の

聲を聞かせられる學生に指導に力を注いでゐるが萬一內地の惡風に染まる者があつたら心持ちで過ちないやうにお願ひ下さいと切々の情を吐露すれば、心なしか一瞬マイクがピリくと緊張したやうに感じられた、斯くて半島の慈父南さんは最後に『朝鮮の決戰體制は寸毫の不安なく、民衆の心構へは大丈夫である』といふ言葉を以て皆さんに本年の贈り物と致す次第でありますと結び九時十五分、マイクの前を去つた【寫眞＝官邸第二應接室から內地へ放送する南總督】

"私は泣いたよ" 感激の大竹氏

南町の玄關に初春の朝日が輝く大竹十郎氏宅の玄關には、代用皮の黑靴が三、四足きちんと並んでゐる、お目出度うと玄關に顏を現した大竹さんは

『僕は泣いたよ、あんなにも南さんが東京にゐる學生のことを心配してゐるんだからネ、僕は早速感謝の電報を打ちに行つたよ、こゝは田舍だからね郵便局が休みでね、仕方がないから新宿の局まで行つて來た、內地に住んでゐる百萬同胞をお願みしてくれたんだよ、僕はあの聲を聞いた時、南さんこそ二千四百萬半島同胞の慈父のやうな感じに打たれた、今もその話をしてゐたところだ、南さんがあれまで心を砕いて半島のことを考へてをられるから施政がうまく行くのだ』

海軍へ十萬圓

黄海道糧穀配組が獻金

黄海道海州府北本町、黄海道糧穀配給組合では同組合を代表して萬代龍助組合長が二日京城海軍武官府を訪れ海軍機製作費として十萬圓を獻納した

戰捷の春を壽ぐ一萬圓

關東組が寄託

戰捷の春を壽ぎ京城府南町合資會社關東組では從業員一同の赤誠籠めた一萬圓を陸海軍へそれぐ五千圓宛獻金することゝなり二日同社代表山崎猪太郎氏ほか五名が本社を來訪、獻金寄託した

"知らぬが佛"の國民

ヤンキーごもはごんちやん騷ぎ

敗戰米英の正月打診

【ブエノスアイレス一日同盟】大東亞戰爭緖戰の歷史的大打擊の生生しい記憶を腦に描きながら米英國民はどう新年を迎へたかと中立國アルゼンチンに集つたニュースを通してのぞいてみるに左の通りだ

アメリカ

アメリカの新年は一月一日午前零時教會の撞きだす鐘の音、工場や汽車、汽船が鳴らす汽笛、サイレンおよび一般市民が頬をふくらませて吹きまくる喇叭や呼子の音で騷音裡に明けるのが恒例であるが今年はニューヨークのやうな大都會では市民の防衛局長官ラガーディヤから『空襲警報と誤認される騷音を立てることは一切嚴禁』といふきつい命令しがあつたため、お祭騷ぎ好きなヤンキーも折角買込んでゐた笛や花火をうち捨てゝ鬪の緖を切つて初の靜靜なお正月を迎へた、さればとて戰敗にしよげ返りつゝ迎春したといふわけでもない、ハワイ海戰の戰果も相當割引のうへ發表されてゐるため知らぬが佛、大衆は割合元氣で今に日本に眼に物みせてくれんと力んでゐる者が相當多いらしい戰況發表などといふやうな大局的な敗戰を伏せて置いて、局部的武勇傳などを大きく扱へば大まかなアメリカ大衆を惝晃返させないですむことが出來るらしく、ニューヨークの人だかりの中心たるタイムス、スクエアーなどではさうした勇敢記錄などを滿載した新聞を鷲摑みにした娘たちと、醉步を運ぶ連中で埋まつたとあるから面白い

イギリス戰爭經濟相の命令によりスコットランドのウイスキーの本場では昨年春から穴藏の封印を切り熟成期間未經過のウイスキーをどしくアメリカへ送つたゝめ今やアメリカはウイスキーの洪水を來しその影響で迎春のブロードウエーはウイスキーの臭味が充滿したとある、ホテルの夜會場やナイトクラブなどの食卓は前日から全部豫約濟みといふ有樣で、ルーズヴエルト大統領が『われらの前途には長くかつ苦闘多き戰爭が待つてゐるであらう』と警告したのもどこへやら、巨外で醉けぬ醜態を室內の醜爭ではらすといふ寸法、一人まへ五ドル乃至二十ドル（邦貨二十五圓—百圓）のどんちやん騷ぎの裡にアメリカの戰爭の第一年が明けたといふわけだ

しかし古老の思ひ出話によるとアメリカのこの陽氣さも決して長續きするものではなく、前の大戰の末期すなはち、一九一八年の新年にはブロードウエイの料理店は肉不足、小麥不足に惱み淋しく除夜を味はつたことがあるといふから、アメリカ市民の華やかな夢もほどなく冷水をぶつかけられるときが來るであらう

イギリス

大東亞戰爭の悲哀が直接身につまつてきたへるイギリスは開戰第三回目の新年を最も陰鬱な心で迎へた、クリスマス前後から機數こそ少いが夢魔の如く英本土を深夜急襲する獨機は市民の睡眠を妨げ、ロンドン市中は今や再び嚴重な燈火管制に復歸した、教會の鐘や市民の笛の禁止されてゐることはアメリカと同じで、迎春の集りはイギリスでも專らホテルや料理店に集中されたが、昨年來著るしくなつた紙不足の現象で何處の集會でも金銀紙やモールなどの美しい飾りは全廢され、平常通りの室の中に『螢の光』の曲がわづかに越年の印象を深めてゐるといふ有樣でお客も折角集りはじめたものの意氣全く舉がらない

ロンドン第一のリーサーカスにやら二千人と『新年おめでた洗つてみるとこでが警備關係の遊びに出たのはといふからこリス帝國の象徵けだ

既に星港を呑む

マレー前線の勇士

宮城遙拜から直ちに進擊

【マレー前線〇〇一日同盟】大東亞戰爭第二年昭和十七年の元旦をマレー戰線に迎へた皇軍諸部隊はゴム林に、ジヤングルに、椰子の木陰にまた印度洋の海濱に占領地も前線も熱帶圈の白く肉く初日の出を仰ぎ、一齊に宮城を遙拜し、シンガポール卑元を望む戰意

天罰忽ち

京城阿峴町三九〇ノ一四書松穂奉（三）は廿八日朝七時半頃中林町一四九天主教會で信徒を裝ひ祈禱中の同町二三四ノ七八松益軍さん（三）の本革靴一足を窃取して逃げ出すのを信徒の新井永根さんが取押へて西大門署へ

急特題話

☆……東亞を指導する日本人は先づ米信を一擲して大國民としての襟度を開かねばならない……そこで、新年をどこの本屋に行つても昭和十七年度高島易斷所の運命暦が賣り出されてをらぬ

☆……私の娘を縁づけるにはいつの日を—と、舊習を守る雨親達が揃つて街をあさつても『ヘイ今年はまだ着荷しません』ので—』と本屋の番頭は頭を下げる

☆……今年は午歲、女には禁物の干支だ、これを機會にこんな迷信が消えれば浮び上る女性は澤山ありませう……と京城本町のある本屋の主人は眞顏でこんなことをいつてゐる